

# 『第四回どこでもMYカルテ研究会』 ～患者・ユーザーサイドから見た どこでもマイカルテ構想の利点～

患者視点から考えるマイカルテへの期待

患医ねっと  
鈴木 信行



# 自己紹介

鈴木信行

患者の側から「よりよい医療」の  
実現を目指して活動中

患医ねっと代表

日本二分脊椎症協会 元会長

精巣腫瘍患者友の会 副代表

聖母大学非常勤講師

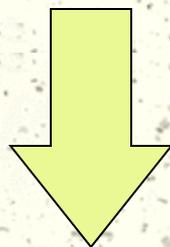
日本医科大学付属看護専門学校非常勤講師

第一三共(株) 元研究員



# 患者情報は誰のもの？

現状 カルテを見るのになぜ苦勞する？



期待 自分の情報は自分が管理できる



# 患者視点でのあったらいいな！

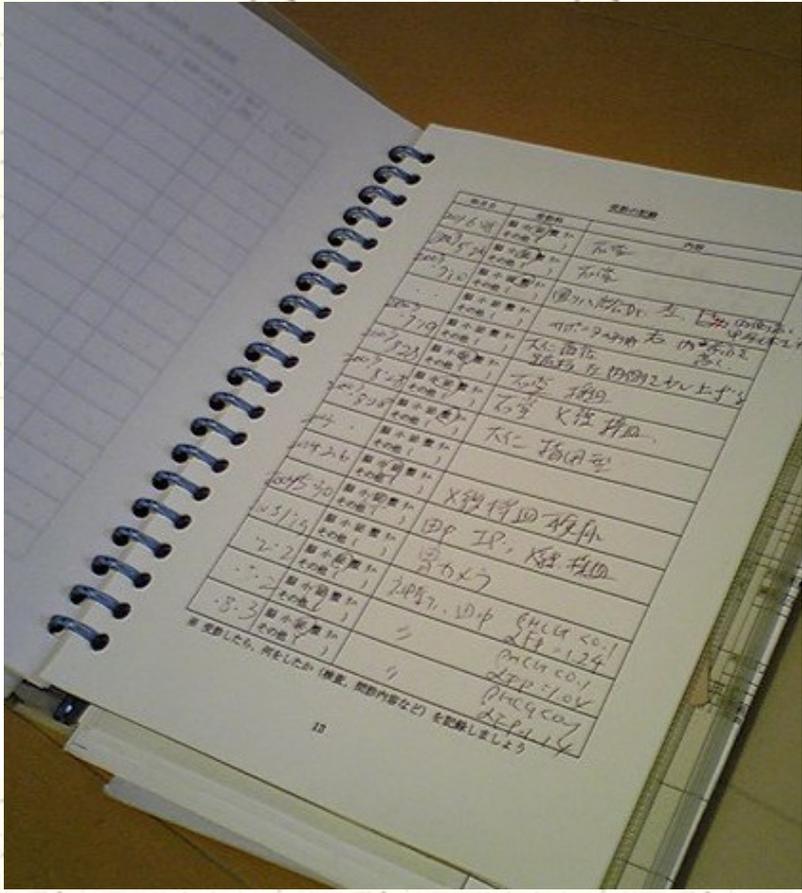
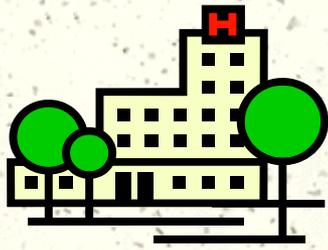
## ＜基本構想＞

患者が主体的に使える「仕組み」が  
組み込まれていること



# 患者視点でのあったらいいな！

どこからでも    いろんなツールで    アクセス可能



# 患者視点でのあったらいいな！

## ＜掲載される項目＞

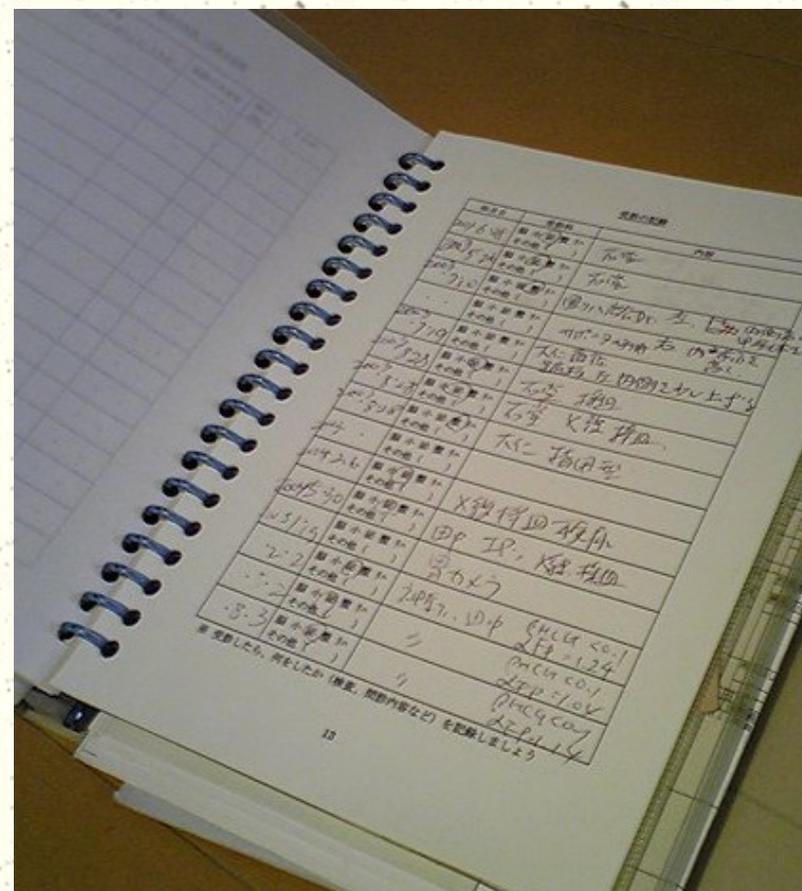
病歴（従来のカルテ）

健康診断の記録

異変時の記録

医療・福祉（介護）の記録

行政サービスの記録



## 主体的に使うために

- ・患者が自由に記載できる欄がある
- ・日常の健康情報が蓄積できる
- ・母子健康手帳の内容を引き継げる
- ・全国统一のシステムであり、誰もが当たり前前に操作できること
- ・個人PCや携帯から操作可能なこと



# 主体的に使うために・・・蛇足

マイカルテの実現は医療改革のチャンス

- 国民が主体的に健康を考える
- 治療計画に患者(=本人)が意見できる
- 医療の閉鎖性がなくなる

でも、そのためには・・・！

国民が「健康意識をもつ」ことが必要

- 国民に対する健康教育がなされること
- 義務教育などにも教育の場を！



# マイカルテ研究会への期待

- ・研究会に、患者視点を持ち、強く意見できる人間を常に確保して欲しい
- ・スピードをもって推進し、一日も早い実現を！

